

## 令和5年度 第1回 熱海伊東地域医療協議会 要約議事録

- 1 開催日時 令和5年6月28日(水) 18:30~19:15
- 2 開催場所 静岡県熱海総合庁舎1階 熱海保健所相談室 (Web会議)
- 3 出席委員  
熱海市長 齊藤 栄  
熱海市医師会長 渡辺 英二  
伊東市医師会長 山本 佳洋  
熱海市歯科医師会長 立山 康夫  
伊東市歯科医師会長 稲葉 雄司  
伊東熱海薬剤師会長 安立 寿美子  
伊東熱海薬剤師会副会長 森 佳美  
国際医療福祉大学熱海病院長 池田 佳史  
伊東市民病院管理者 川合 耕治  
熱海市町内会長連合会長 石井 倭雄  
熱海市健康づくり推進委員連絡会長 石黒 葉子  
伊東市保健委員連絡協議会長 桑原 佳代  
静岡県熱海保健所長 伊藤 正仁
- 4 議題
  - (1) 第9次静岡県保健医療計画の策定
  - (2) 静岡県保健医療計画記載の医療機関(薬局)の変更

◇高橋次長（熱海保健所）

ただ今から、令和5年度第1回の熱海伊東地域医療協議会を開催します。議事に入る前に、いくつか確認をお願いいたします。初めに本協議会の委員につきましては、任期が2年となっており、今年度から新たな任期となります。このたび新たに委員となった方が2名いらっしゃいますので、紹介させていただきます。

伊東市保健委員連絡協議会長の桑原佳代様です。それと、本日は欠席をされておりますが、伊東市地域行政連絡調整協議会の会長の沼田雅治様でございます。

なお、本日出席予定の伊東市長の小野委員ですが、所用により欠席という報告をいただいております。

本日の会議については、公開とし会議録を作成した上で、公開することとしております。あらかじめご了解をお願いいたします。なお、今回の協議会の議事録署名人は、恐れ入りますが、伊東市民病院の川合委員、熱海市町内会長連合会の石井委員をお願いいたします。

それではこれより議事に入らせていただきます。ここからの進行は、熱海伊東地域医療協議会設置要綱第5条に基づき、熱海保健所長の伊藤が議長を務めさせていただきます。伊藤議長、お願いします。

◇伊藤議長（熱海保健所）

皆様よろしく申し上げます。熱海保健所の伊藤です。熱海伊東地域医療協議会は新型コロナの影響等もあり対面やオンラインでの開催も見合わせ、今回久しぶりの開催となりました。なお、この間に行いました書面開催にご協力いただいた委員の皆様には改めて感謝申し上げたいと思います。

また、当地域医療協議会は、地域医療構想調整会議ともメンバーが重複してございますので、地域医療協議会に引き続き概ね19時ごろから、地域医療構想調整会議を行う形で準備をさせていただきました。皆様のご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。

それでは次第に従いまして、議題1の第9次保健医療計画の策定について、県庁の医療政策課、熱海伊東圏域の骨子案については熱海の事務局。それから、在宅医療分野につきましては県の地域包括推進室の担当が説明を行います。

◇大石副班長（県医療政策課）

資料に基づき説明

◇山本主任（熱海保健所）

資料に基づき説明

◇内野室長（県地域包括ケア推進室）

資料に基づき説明

◇伊藤議長（熱海保健所）

まず、全体的な保健医療計画に関しまして、何かございますか

◇齊藤委員（熱海市長）

熱海市です。今説明を受けたわけですが、まず熱海市独自の課題になるわけですが、近い将来、産科がゼロになる、なくなる可能性が非常に高くなっております。実際、熱海市民は伊東や三島のクリニックでの出産が多いわけですが、令和5年4月から沼津や三島のクリニックで出産を受け付けなくなったと聞いております。

少子化が進んでいく中で、市民からは「生む場所もないのにどうやって子供を増やせばいいんだ」というストレートな声があるわけですが、実際、これまでも国際医療福祉大学熱海病院で産科の分娩を休止しているという状況であります。実際に年間の出生数等を考えると合理的な判断だとは思いますが、

この問題は、本当に個別の市町で解決できない問題なんです。他の町ということで具体的にどこになるのか、この計画は6年で、2029年が最終年度ですので、やっぱり中長期の目標をきちんと設定していただいて、この産科について、この圏域でもって、あるいは広域で、私は広域で連携するしかないと思っておりますが、具体的にどうやっていくのかっていうことをぜひ、今日は骨子案ですけども、この中で記述していただきたいというのが一点です。

もう一点は、冒頭のところに、この熱海伊東医療圏域と駿東田方医療圏との連携ということが書いてあるんですが、私はこれだけでは十分ではないと思っております。具体的な賀茂圏域も含めた形で、この医療体制を整えていかないと。特に賀茂圏域は、具体的に小児救急もありませんし、連携していかなきゃいけないと。実はなぜこんなことを申し上げるかという、私自身が昨日の7市6町首長会議と言って、この伊豆半島の13の市町の首長が定期的に集まって、いろいろな施策を協議する会があります。これまで長らく伊東市長がやっていたんですが、今回退任ということで、昨日、私がこの7市6町首長会議の会長になりました。テーマとしては、非常に広く、伊豆半島全体の観光また道路を始めとするインフラの整備、そして医療、あと学校もあると思っておりますが、実際、先日、市内のある医師の方から、賀茂郡で耳鼻科の検診が学校で出来なくなっていると、そういう状況があれば、熱海市から協力してもいい、そんな声も聞いております。ここは圏域ごとの計画だと思っておりますけども、伊豆半島全体、自分が7市6町首長会議の会長となったなったというのものもあるんですが、賀茂圏域も一緒になっ

て、2029年度まで6年間の目標ですので、その点についても、しっかり注意していただきたいというふうに思っております。以上2点、意見を申し上げます。

◇伊藤議長（熱海保健所）

周産期に関しましては、一市だけで課題解決していくのはもう難しい時代になっており、人口の減少の具合ですとか出生数に応じて、既に精神とか周産期に関しましては東部全体でそういった会議体もございまして、選択と集中を繰り返し、やがてはやはりどっかに集中していくという形になっていくのではないかなと思います。そういったことを検討するような会議体も既にありますので、そういう流れに乗っていくしかないかなと思っております。

熱海市に産科がなくなってしまうと市民の方にはご不便をおかけしていくんですけども、安全に出産できる場所を第一に目指していくと、そういう形になるかなと思います。

あともう一点なんですけども、伊東、熱海で一つの圏域というふうに我々は考えておまして、伊東市民病院の産科の医療体制等も、今後、川合先生に一言いただきたいと思っておりますが、そういう形で圏域では圏域内で出産出来るような環境を整備していくとともに、基本的には広域で連携していくってところを県としては目指しております。

また、具体的に賀茂圏域の話当圏域の骨子の中に入れるのはなかなか難しいので、今回はこういう形で、骨子案を提案させていただきました。

◇齊藤委員（熱海市長）

今、議長がおっしゃたように、広域でやっていくということなんですけども、なかなかそれを市長から言ってもですね、「なんでさぼってるじゃねか」と、それを「熱海市の仕事ここにあることはないだろう」という、これは別に私だったらどこも多分そういう声が出てしまうので、県全体として、また例えば当圏域として、この産科、周産期の医療もこういうふうに整えています、心配ありませんということを、ぜひ県の方で住民に、市民に説明をしてもらいたいというのが一つあります。

もう一つは、先ほどの賀茂圏域のことですが、それぞれの圏域ごとに書かれているからだと思いますが、先ほどの声もありますので、また、7市6町首長会議でもいろんな意見が出ておりますので、それぞれの圏域の全体の構想のところですが、そういったところに記述していただければなというふうに思います。

◇伊藤議長（熱海保健所）

続きますして在宅医療の分野に関しましていかがでしょうか。

◇足立委員（伊東熱海薬剤師会長）

伊東熱海薬剤師会の安立です。「シズケア\*かけはし」の登録率がかなり高い割合で出てるかと思うんですが、多職種、その全てのいろいろな施設をまとめた分の割合と考えてよろしいでしょうか。

◇山本主任（熱海保健所）

おっしゃる通りです。

◇安立委員（伊東熱海薬剤師会長）

骨子なので、こういった大雑把というか全体的な把握数なんだろうが、今後「シズケアかけはし」の利用促進を進めていく上で、具体的な職種ですね、訪問看護師さんとかケアマネさんのセンターとか、いろいろなところをどのくらいの割合で、どこに力を入れた方がいいとかっていうことを具体的にしていかなないと、なかなか利用促進が上がっていかないのかなっていうふうに思います。1人の患者さんの在宅に対して全ての入ってる、多職種の方が「シズケア\*かけはし」が利用できないと、このシステムが、なかなか伸びていかないってところもあるかと思しますのでその辺のところもちょっと力入れていただきたいなと思います。

◇伊藤議長（熱海保健所）

ありがとうございます。おっしゃる通りだと思います。登録率の低いところを探して、そこを中心的に働きかけていきたいと思えます。

今回、保健医療計画の圏域版の骨子案につきましては一応いただいたご意見を踏まえながら、修正を加えていきたいと思えますので、どうぞよろしく願いいたします。

次に、第9次保健医療計画においては二次医療圏の見直しは行わないこととしておりますが、今回、見直しを行わないことが適切かどうかという検討をさせていただきたいと思えますので、「二次医療圏の設定」について、事務局から説明します。

◇山本主任（熱海保健所）

資料に基づき説明

◇伊藤議長（熱海保健所）

今説明がありました通り、今回は見直しは行いませんが、既に周産期とか精神に関しては広域でやっている。がんや三次救急などは、患者の流出は起こっている。ただ一方で、一般的な患者の、例えば二次救急医療圏とか二次保健医療圏に関して、これまで委員の皆さんからあまりご不便とは伺っていないところなので、今回は一応こういう形で進めていき、今後、人口の変化や出生数の変化に応じて検討は続けていくことになると思います。

二次医療圏の設定について御意見のある方はいらっしゃいますか。

◇池田委員（国際医療福祉大学熱海病院長）

トリプル20の件なんですけども、熱海伊東地区あるいは賀茂地区が医療圏の見直しにならないのは、流入患者の割合が高いからということなんですけども、これは、ひとえに観光客がやってきて、そこで怪我などをしてその地区の病院に行くっていうことが主な理由になってると思うんです。それは実際に（患者）ご自身にとっては本来関係ないことなので、ある意味、もう熱海伊東地区、賀茂地区はトリプル20に到達しているというか、考えなきゃいけない場所になっているというふうに考えると、今回、このまま医療圏で行くのは全然いいんですけども、やっぱりもっと真剣に、このことに関してはどうするかっていうことを考えた方がいい時期、あるいは、いかに流出を止めるか、齊藤委員がおっしゃったように、この地区で本当にどういう形でやっていくかということ、ちょっと考えていきたいかなと思いました。

◇伊藤議長（熱海保健所）

引き続きこのことは検討は続けていくと思います。先ほど説明もありました作業部会等でまたそういった先生にご指摘いただいたことなども踏まえての検討を続けていきたいと思います。

もう一点、議事ではないんですけども先ほど齊藤委員もご心配されていた産科の医療体制について、伊東市民病院の産科の現状についてお話いただけますでしょうか。

◇川合委員（伊東市民病院管理者）

政策医療といいますか、周産期が最たるものなのかもしれません。精神科医療とか小児科医療とかですね、非常に社会的、政治的に大きな問題となる、今お話しした政策医療に関しましては、この考え方が大変地域におきましても難しいというのを、今回、産婦人科の医師を集めたり、新しく新体制を組むについて、つくづく感じていますけど、先ほど齊藤市長さんからお話ありましたが、この問題

は、市民、住民の皆さんを巻き込んで議論しないと話は進んでいかないとつくづく感じています。

うちの病院は背景、社会的な状況を考えて相当無理をしているということは十分承知していますが、無理をしてでも、医療資源を、足りない医療資源を集めて市民の皆さんに元気を与えなきゃいけないという、そういう社会的な意義、意味合いで、動いているというのが現状で、経営的にも大変矛盾のあるやり方だと思ってますし、世の中のあり方に相当抗った形だという風に十分自覚しておるんですけども、やはり市民の皆さんの元気、市民の皆さんを元気にするにはどうしても果たさなきゃならない、病院としての使命だと、現状では考えてます。

ただ、それは相当な無理が。先ほど来、伊藤議長がおっしゃるように合理性、集約性というのは、いろんな医療の安全を考えるとやむを得ない状況ですので、世の中そういう方向に動いていることは十分私も理解しておりますし、ただそういう方向へ進むにあたっては、市民、住民の皆さんの合意を得る、コンセンサスを得た上で進まなければいけない大きな問題ですので、ここをどういうふうにか克服していくかというのが一番の問題だというふうに思ってます。

具体的には我々やはり、市民の皆さんを巻き込んで議論していく、コミュニケーションを図ってこの問題についてみんな納得していくってことが大事で、これは政治的な問題でもあるんですね。齊藤市長さんそこにおられますけど、私も、伊東市の市長や皆さん行政の方に訴えてますけれども、市民公開講座、市民懇談会というような企画を繰り返して、市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

うちの病院は今、周産期に関しては相当無理を承知で頑張ってますけど、今お話ししたとおりです。将来的には、いろいろ合理性、集約性に向かっていくってことはやむを得ないというふうに思ってますけども、地域、もちろんこれは伊豆半島を含めた地域の中で、市民の皆さんと考えていくというふうにしていかなければいけないと思っています。

#### ◇伊藤議長（熱海保健所）

ありがとうございました。ここですぐ具体的にどうするというような結論を出せませんが、引き続き市民の方も巻き込んだ議論を続けていきたいと思いません。

次に議題2の「静岡県保健医療計画記載の医療機関（薬局）の変更について、事務局から説明します。

#### ◇山本主任（熱海保健所）

資料に基づき説明

◇伊藤議長（熱海保健所）

議題の2の医療機関（薬局）に関しましては、皆さんご確認いただいたというところよろしいでしょうか。

◇高橋次長（熱海保健所）

これにて第1回目となります後に熱海伊東地域医療協議会の方を終了させていただきます。この後引き続きまして、地域医療構想調整会議の方も開催させていただきますので、調整会議の委員の方は引き続きのご参加をお願いしたいと思います。

上記のとおり、令和5年度第1回熱海伊東地域医療協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、議事録署名人が署名押印する。

令和5年7月14日

署名人 伊東市民病院管理者

署名人 熱海市町内会長連合会長